

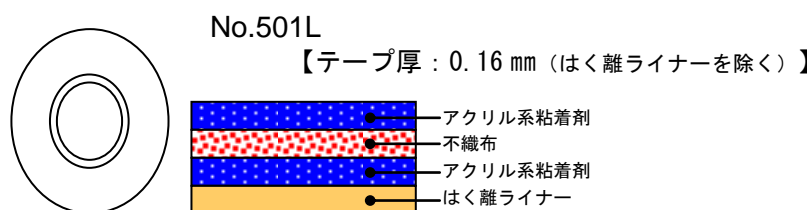
両面接着テープ

No.501L

概要

柔軟な不織布にアクリル系粘着剤を含浸させた両面接着テープです。エーテル・エステル系ウレタンフォームなどの各種発泡体用として、ロールによる貼り合せ、打ち抜き加工などの作業性、加工性もすぐれています。

テープ構成



特長

- 粗面接着性にすぐれています。
- 低温接着性にすぐれ、冬場にも安定した性能を発揮します。
- 耐反発性にすぐれ、曲面部の発泡体の浮き上がりも防ぎます。
- RoHS 指令 6 物質を使用しておりません。

用途例

- 各種発泡体の貼り合わせ用
- ウレタンフォーム他の接着用に使用

サイズ

テープ厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (M)
0.16	5~1,050	50

詳細は弊社営業担当者まで問い合わせください。

NO. 501L 10-P-0015_J (1/4)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

特 性

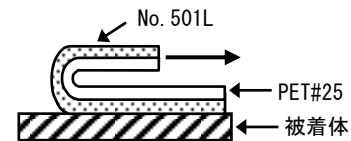
●180° 引きはがし粘着力ー被着体別

被着体	No. 501L
ステンレス板	10.0
アルミニウム板	10.5
ABS板	9.5
アクリル板	10.5
ポリプロピレン板	7.5

(単位：N/20mm)

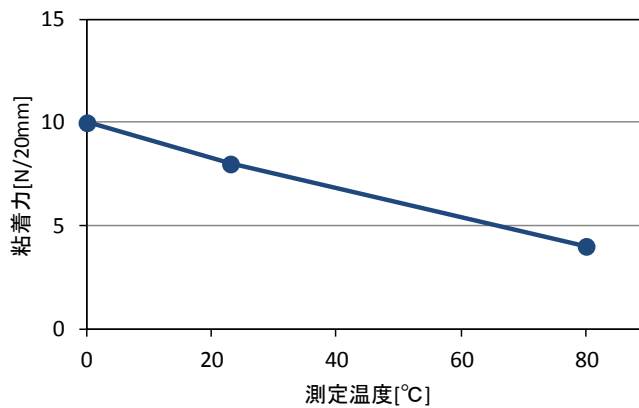
試験片：20mm幅
 裏打ち材：PET#25
 圧着方法：2kgローラー1往復
 圧着温度：23°C/50%RH
 養生条件：23°C/50%RH×30min
 引張速度：30mm/min
 引張角度：180°
 測定温度：23°C/50%RH

〈試験方法〉



●粘着力の温度依存性

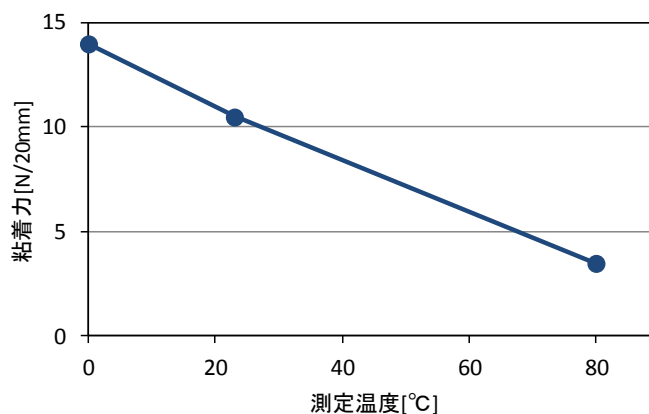
[エーテル系ウレタンフォーム]



(単位：N/20mm)

試験片：20mm幅
 裏打ち材：PET#25
 圧着条件：フォーム厚さ比90%圧縮
 圧着温度：23°C
 放置・測定温度：0, 23, 80°C
 引張速度：300mm/min
 フォーム厚さ：5mm
 引張角度：180°
 試験方法：180°引きはがし法

[エステル系ウレタンフォーム]



NO. 501L 10-P-0015_J (2/4)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

●低温作業下での180°引きはがし粘着力(0°C)

	エーテル系ウレタンフォーム	エステル系ウレタンフォーム
No. 501L	8.0	9.0

(単位：N/20mm)

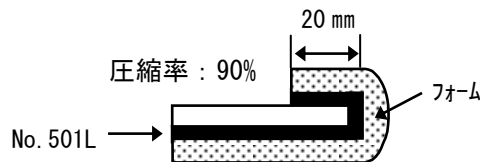
試験片：20mm幅
裏打ち材：PET#25
圧着条件：フォーム厚さ比90%圧縮
圧着・測定温度：0°C
引張速度：300mm/min
フォーム厚さ：5mm
試験方法：180°引きはがし法

●耐反発特性（フォーム種類別）

被着体	発泡体	23°C	80°C
ABS	エーテル系ウレタンフォーム	○	○
	エステル系ウレタンフォーム	○	○
	モルトブレンSK	○	○
	スーパーシールSWB	○	○

圧着温度：23°C
測定温度：23, 80°C
圧着条件：フォーム厚さ比90%圧縮
フォーム厚さ：10mm
テープ幅：20mm
評価：100時間以上経過時の
浮き・はがれを確認

○：はがれ無し

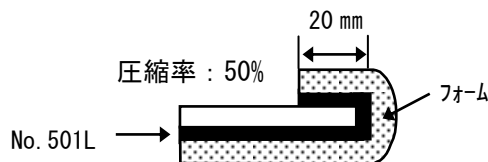


●耐反発特性（低加圧時）

被着体	発泡体	23°C	80°C
ABS	エーテル系ウレタンフォーム	○	○
	エステル系ウレタンフォーム	○	○

圧着温度：23°C
測定温度：23, 80°C
圧着条件：フォーム厚さ比50%圧縮
発泡体厚さ：10mm
テープ幅：20mm
評価：100時間以上経過時の
浮き・はがれを確認

○：はがれ無し

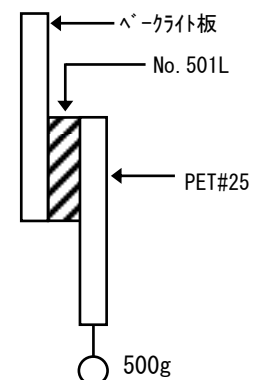


●保持力

試料	40°C
No. 501L	1.3

(単位：mm)

被着体：ベークライト板
圧着温度：23°C/50%RH
養生条件：測定温度×30min
測定温度：40°C
貼付面積：20mm×10mm
荷重：4.9N(500g)
負荷時間：30分



NO. 501L 10-P-0015_J (3/4)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。


使用上の注意

- 被着体の表面の油分・水分・ゴミなどは、きれいに除いてください。
- 感圧性粘着剤ですので、圧着はローラー・またはプレスにて十分行ってください。
圧着が不十分な場合、特性及び外観に影響を与えます。
- 凹凸面や歪みの大きいものにはきれいに接着しない場合があります。できるだけならしてください。
- テープ本来の粘着力を発揮するまでには、少し時間がかかりますので、少なくとも貼り付け後数時間はテープに大きな力がかかる置き方や使い方は避けてください。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
- 保管場所は直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。

安全上の注意

 注 意
<ul style="list-style-type: none"> ●使用に際しては、本製品が用途(目的・条件)に適応するか、十分検討の上、ご使用ください。 被着体や貼りつけ条件によっては、はがれたりする可能性があります。 ●事故につながる可能性がある場所などに使用する際は、他の接合方法と併用してください。

2014年3月発行

- 問合せ先 …テクニカルサポートセンター接合材料グループ T-CAT
E-mail : tcat@nitto.co.jp TEL : 0532-41-8400 FAX:0532-41-8473

NO. 501L 10-P-0015_J (4/4)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。